

---

# 紀子たん

ごはんライス

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

紀子たん

### 【コード】

N6224Q

### 【作者名】

ごほんライス

### 【あらすじ】

受験生諸君。踏ん張り時ぜよ

紀子さんは、明日、高校入試の面接がある。どつきどきだ。紀子さんは、金髪でピアスをしてミニスカートだったが、面接のために黒髪にし、ピアスも外して、普通のスカートを買った。

問題は、内容である。面接の時に三分間スピーチというのをしなければならぬ。中学生生活一番の思い出を語るといいと先生に言われたので、紀子さんは所属するレディース「紅豚」が敵対するレディース「殺処分」と大乱闘して友人が鉄パイプで後頭部を殴られて死んでしまったことを語ろうとしたが、原稿を先生に見せたら、当然NGとなった。

次に、紀子さんのいたクラスの壁にトラックが突っ込むという事件を書いた。犯人は引きこもりをしてた豆沢で、あれは印象深かった。

「紀子さん。真面目に書きなさい。合格したくないの」「したいです」

紀子さんはとっておきのを書いた。これは誰にも話してない。夏休みに兄貴にレイプされたことを書いた。

もちろん、ボツ。

「まったく新人小説家になった気分だ。くそうぜえ」

結局、紀子さんが、歩いてるおばあちゃんの荷物を持ってあげたら、実は財産家で、後でお礼に百万円をもらって、家族でハワイ旅行に行った話が採用された。無論、リアリティーに欠けるということで、百万円もらったのを喫茶店でジュースをご馳走になったと書き直された。

紀子さんはいまいち納得がいかないが、不合格になるわけにはいかないのです、その話を一生懸命練習していた。

その頃、二階の書斎では、小説家をしている父、震太郎が頭を抱えて悩んでいた。

「このレイプシーンを入れないと作品に深みが生まれません。でも児童書でそれはないわなあ。うーん。うーん。」  
蛙の子は蛙というわけである。ちーん。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n6224q/>

---

紀子たん

2011年10月9日19時14分発行